

エステバン PIANC 会長の来日

日本政府関係者との会談

6月14日、PIANC本部のフランシスコ・エステバン・レフラー会長は国土交通省港湾局、水産庁の関係者と会談し、PIANC活動の今後の方向性やアジアにおけるPIANC運動の活性化に対する日本の貢献について意見交換しました。特に、港湾の脱炭素化に向けた取り組みが、積極的に議論されました。



遠藤 公彦
国土交通省港湾局技術参事官



堀田治
港湾局長



田中 郁也
水産庁漁港漁場整備部長

東北地方訪問

エステバン会長は、6月15日から6月16日までの日程で、東北地方の津波被災地を訪問しました。東北地方の太平洋岸は、2011年3月11日の東日本大震災および津波によって大きな被害を受けました。今回、PIANC-Japanではエステバン会長を、被災後再建され防災機能が強化された被災地のインフラを訪問するため、エステバン会長を招聘したものです。視察には、岡田光彦 PIANC 副会長及び成川和也東北地方整備局港湾空港部長、山根知弘港湾局国際調整官が同行しました。PIANC-Japanでは、この大災害から学んだ教訓が技術者や政策立案者を含む多くの人々に共有され、世界における災害の軽減に役立つことを願っています。エステバン会長は PIANC 活動を通じ、それを実現できる適任者の一人と考えています。

視察行程:

6月15日

- 仙台塩釜港（仙台港区高砂コンテナターミナル及び石巻港区バイオマス発電所）
- 南三陸町（住宅地の高台への大規模移転と震災遺構）
- 気仙沼港（遠隔操作ゲート付き防潮堤）



6月16日

- 大船渡漁港（フラップゲート防波堤）
- 釜石港（湾口防波堤）
- 宮古市田老地区（津波前後の防潮堤と震災遺構）

